

事例 ① 本社—海外支社間での業務通信

【抱えていた課題】

- 海外支社から日本本社の基幹システムへインターネット経由で日々業務を行っていたが、度々繋がりにくくなったり、全く繋がらない状態が数時間続くこともあったのため、安定した通信経路の確立が急務となった。

【採用に至った経緯、ポイント】

- 日本本社の基幹システムとは、パケット通信量が小さいため専用線を利用するには想定外の高いコストとなることや開通までに時間がかかることから、他の解決策を探していた。
- IX-NETは、品質保証された必要最小限の帯域で契約することができるため運用コストを安く抑えられること、そして既存のインターネット環境さえあれば簡単に利用できることを評価した。
- IX-NETは事前検証が可能で、その結果として安定した通信の確証が取れたため採用を決めた。

【導入効果】

- 安定した通信環境によりセッションが途中で切れることがなくなり、業務への影響は皆無となった。

【ご利用サービス】

- IX-NET 2Mbps帯域保証 IR-Router利用 (お客様のルーター※での対応も可能)
※対応機種についてはお問合せ下さい。

